

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第34週の発生動向

トピックス

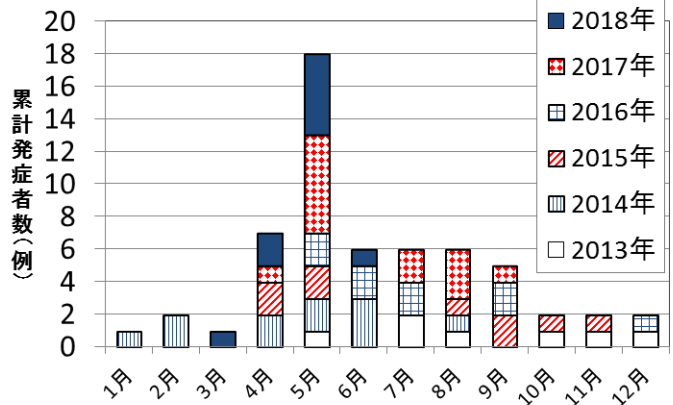
重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)

(全数報告の感染症)の報告が日南保健所管内からあった。患者は70歳代女性で、発症は5月中旬である。ダニの刺し口は確認出来なかった。県内での報告は今年9例目で、累計58例(平成25年3月届出開始以降)となった。

県内のSFTS年齢別報告数(届出開始以降)

30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
1	1	2	14	21	14	5

県内のSFTS月別発症者数(届出開始以降)

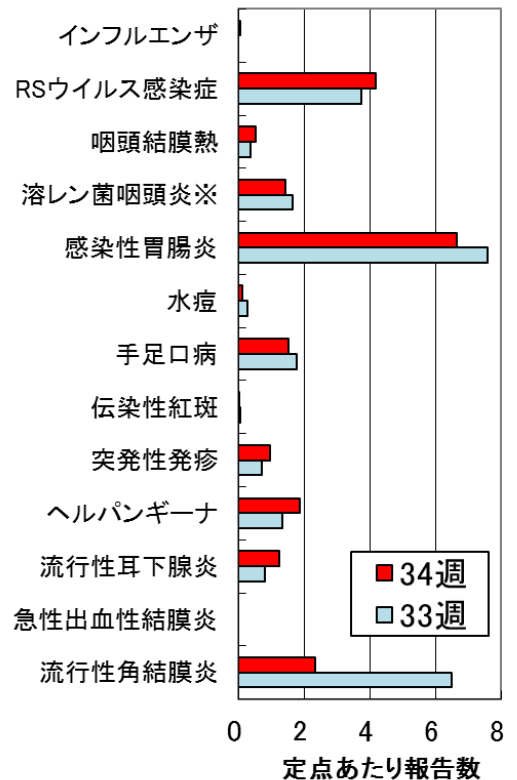


全数報告の感染症(34週までに新たに届出のあったもの)

- 1類感染症：報告なし。
- 2類感染症：結核 4例。
- 3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 5例。
- 4類感染症：重症熱性血小板減少症候群 1例、日本紅斑熱 2例。
- 5類感染症：百日咳 9例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	40歳代	女	疑似症患者	咳、発熱
		都城	60歳代	女	無症状病原体保有者	—
			70歳代	男	疑似症患者	心嚢液貯留
		延岡	80歳代	女	腸結核	血便
3類	腸管出血性大腸菌感染症	宮崎市	5~9歳	男	—	腹痛、水様性下痢、血便、発熱、溶血性貧血、急性腎不全、溶血性尿毒症症候群(HUS)、O血清型不明(VT型不明)
		都城	0~4歳	男	—	水様性下痢、嘔吐、O26(VT型不明)
			20歳代	女	無症状病原体保有者	O血清型不明(VT1)
			30歳代	男	無症状病原体保有者	O血清型不明(VT1)
		日南	0~4歳	女	—	血便、O103(VT1)
4類	重症熱性血小板減少症候群	日南	70歳代	女	—	発熱、頭痛、筋肉痛、神経症状、食欲不振、全身倦怠感、血小板減少、白血球減少、リンパ節腫脹
	日本紅斑熱	宮崎市	60歳代	男	—	発熱、頭痛、刺し口、発疹、DIC、肝機能異常
			70歳代	男	—	発熱、頭痛、発疹、DIC、肝機能異常
5類	百日咳	宮崎市	0~4歳	女	—	持続する咳、夜間の咳き込み、ウーブ、無呼吸発作、白血球数増多
			0~4歳	女	—	持続する咳、夜間の咳き込み、ウーブ、白血球数増多
			10歳代	女	—	持続する咳、夜間の咳き込み、呼吸苦、スタカート、嘔吐
			30歳代	男	—	持続する咳、夜間の咳き込み
		日南	10歳代	男	—	持続する咳
			10歳代	女	—	持続する咳
			40歳代	男	—	持続する咳
		中央	5~9歳	女	—	持続する咳、夜間の咳き込み
			40歳代	女	—	持続する咳

《前週との比較》



※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

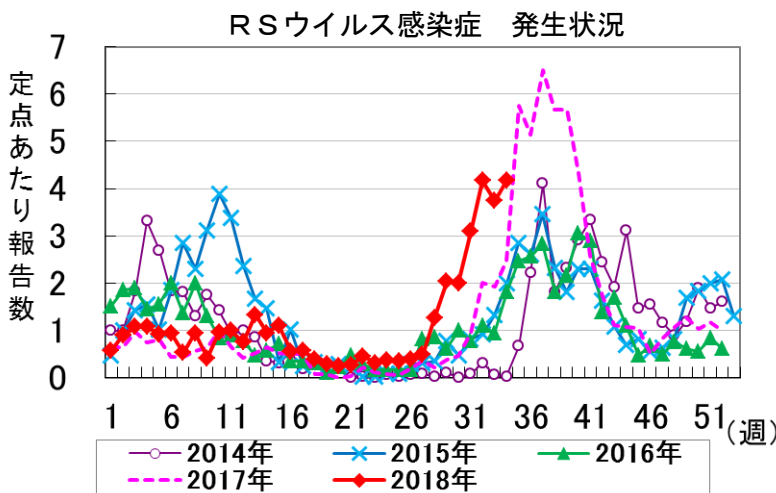
□ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は665人(定点当たり20.9)で、前週比84%と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は流行性耳下腺炎で、減少した主な疾患は流行性角結膜炎である。

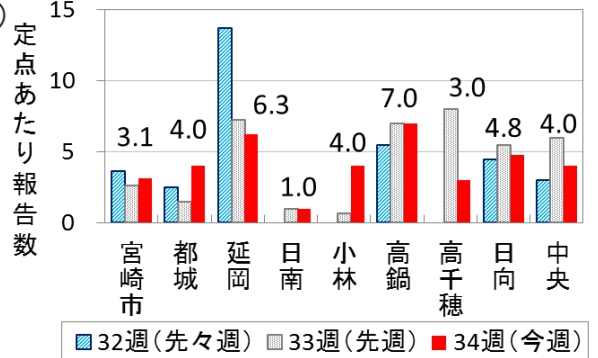
★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【RSウイルス感染症】

報告数は146人(4.2)で、前週比111%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値*(1.9)の約2.2倍である。高鍋(7.0)、延岡(6.3)保健所からの報告が多く、年齢群別では2歳以下が全体の約9割を占めている。

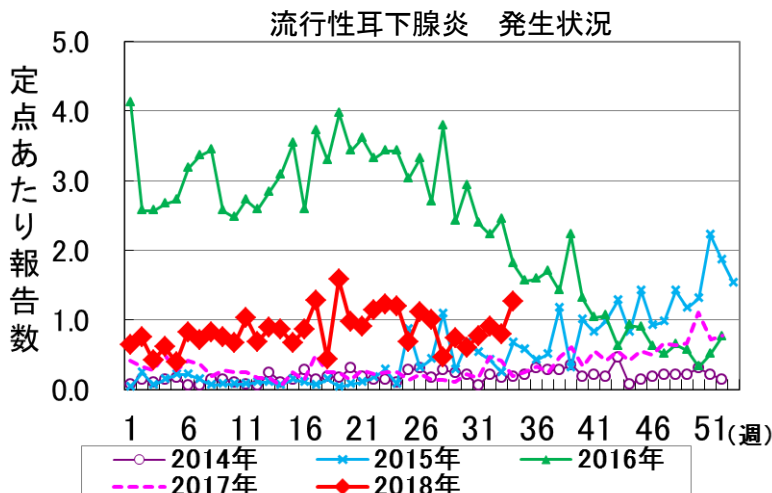


RSウイルス感染症 保健所別推移(3週分)



【流行性耳下腺炎】

報告数は44人(1.3)で、前週比157%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値*(0.62)の約2.0倍である。日南(13.0)保健所からの報告が多く、年齢群別では4~6歳が全体の約6割を占めている。



* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

★基幹定点からの報告★

報告なし。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	なし
日南	流行性耳下腺炎(13.0)
小林	感染性胃腸炎(20.0)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	なし

＊流行警報レベル開始基準値＊

・感染性胃腸炎(20.0)

・流行性耳下腺炎(6.0)

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 平成30年8月27日までに検出）

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
EPEC (O157:H40)	5～9歳	男	2018.07.30	発熱、胃腸炎、下痢	便	
EHEC (O26:H11 VT1)	0～4歳	男	2018.08.01	下痢	便	
Salmonella Corvallis (O8:z4,z23:-)	10歳代	男	2018.08.07	細菌性胃腸炎、発熱(39.7℃)、水様性下痢、嘔気、嘔吐、腹痛	便	2018.08.04
Salmonella Thompson (O7:k:1,5)	5～9歳	女	2018.08.08	サルモネラ腸炎、発熱(40.0℃)、出血性下痢、嘔気、嘔吐、血便、腹痛	便	2018.08.11
Salmonella Poona又はSalmonella Farmsen (O13:z:16)	60歳代	女	2018.08.09		便	2018.08.17
Bordetella pertussis (百日咳菌)	0～4歳	女	2018.08.18	百日咳疑い、下気道炎	咽頭ぬぐい液	2018.08.21
Salmonella Enteritidis (O9:g,m:-)	10歳代	男	2018.08.16		便	2018.08.24

5～60歳代の4名からサルモネラ属菌が検出された。サルモネラ症は、全ての人に感染する可能性があるが、特に幼児、高齢者、免疫力の低い患者では重篤な症状を呈することがあり、予防に関してさらに注意が必要である。加えて、今回も腸管出血性大腸菌（EHEC）が検出された。食中毒は、手洗いや食品の取り扱い方によって防ぐことが出来る。今後も気温の高い日が続くため、引き続き食品の衛生管理等には十分注意が必要である。

★薬剤耐性菌

同定細菌名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
Citrobacter koseri IMP-1(+)	60歳代	男	2017.07.01	尿路感染症	カテーテル尿	2018.07.18

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
エンテロウイルス71型 エコーウイルス18型	5～9歳	男	2018.05.25	手足口病、38.3℃、口内炎、発疹	咽頭ぬぐい液	2018.08.21
エンテロウイルス71型	10歳代	男	2018.06.04	手足口病疑い、流行性筋痛症疑い、38.0℃、筋肉痛、発疹(丘疹)	便	2018.08.17
エコーウイルス18型	5～9歳	男	2018.06.04	ウイルス性発疹、39.1℃、発疹	咽頭ぬぐい液	2018.08.17
エコーウイルス18型	0～4歳	女	2018.06.08	エコーウイルス発疹疑い、発熱、発疹	咽頭ぬぐい液	2018.08.17
エコーウイルス18型	0～4歳	女	2018.06.18	エコーウイルス発疹疑い、発疹	咽頭ぬぐい液	2018.08.21
エコーウイルス18型	0～4歳	女	2018.07.04	エコーウイルス発疹症、38.1℃、発疹	咽頭ぬぐい液	2018.08.21
エコーウイルス18型	0～4歳	男	2018.07.05	エコーウイルス疑い、39.0℃、頭痛、発疹、嘔気・嘔吐	咽頭ぬぐい液	2018.08.20
アデノウイルス1型	0～4歳	女	2018.07.11	気管支肺炎、40.0℃、上気道炎(咽頭炎)、 下気道炎(肺炎・気管支炎)、胃腸炎(下痢・嘔気・嘔吐)	便	2018.08.17

○発疹症状のある幼児6名からエコーウイルス18型(Echo18)が分離・検出された。今年に入り、当所で発疹症状のある患者から分離・検出されたエコーウイルスの内訳をみると、Echo18が12件と最も多く、次いでEcho9が5件となっている。全国のエコーウイルス分離・検出状況をみると、Echo18が最も多く、次いでEcho11、Echo7となっている。

○手足口病と診断された2名から、エンテロウイルス71型(EV71)が分離された。今年は手足口病患者から分離・検出されたウイルスとしてEV71の報告数が約半数を占めており、当所においても、EV71が10件、コクサッキーウイルスA16が1件と、EV71の占める割合が高くなっている。

🇯🇵 全国 2018 年第 33 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第 33 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	312 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	195 例				
4類感染症	E型肝炎	5 例	A型肝炎	18 例	重症熱性血小板減少症候群	1 例
	つつが虫病	2 例	デング熱	5 例	日本紅斑熱	12 例
	マラリア	2 例	レジオネラ症	32 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	13 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	43 例	急性脳炎	8 例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	12 例	後天性免疫不全症候群	15 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4 例	侵襲性肺炎球菌感染症	23 例	水痘（入院例）	5 例
	梅毒	67 例	播種性クリプトコックス症	2 例	破傷風	3 例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2 例	百日咳	154 例	風しん	43 例
	麻しん	1 例				

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 82%と減少した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は特になく、減少した主な疾患は手足口病とヘルパンギーナである。

R S ウイルス感染症の報告数は 4,104 人(1.3)で前週比 98%とほぼ横ばいであり、例年同時期の定点当たり平均値*(0.64)の約 2.1 倍である。宮崎県(3.7)、徳島県(3.3)、愛媛県(3.2)からの報告が多く、年齢群別では 2 歳以下が全体の約 9 割を占めている。

ヘルパンギーナの報告数は 4,526 人(1.5)で前週比 63%と減少し、例年同時期の定点当たり平均値*(2.1)の約 0.7 倍である。山形県(5.2)、長野県(3.9)、福島県(3.5)からの報告が多く、年齢群別では 1~3 歳が全体の約 7 割を占めている。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均

宮崎県 感染症情報

(71 定点医療機関)

2018年 第34週(08月20日～08月26日)

疾病名		第33週	第34週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数		4	1				3				
	定点あたり	0.00	0.07	0.00	0.10	0.00	0.00	0.60	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	131	146	28	24	25	3	12	28	3	19	4
	定点あたり	3.74	4.17	3.11	4.00	6.25	1.00	4.00	7.00	3.00	4.75	4.00
咽頭結膜熱	報告数	13	18	4	3	1	2		5	1	2	
	定点あたり	0.37	0.51	0.44	0.50	0.25	0.67	0.00	1.25	1.00	0.50	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	58	50	11	12	10	4	3	3		6	1
	定点あたり	1.66	1.43	1.22	2.00	2.50	1.33	1.00	0.75	0.00	1.50	1.00
感染性胃腸炎	報告数	265	232	30	45	7	37	60	7	6	32	8
	定点あたり	7.57	6.63	3.33	7.50	1.75	12.33	20.00	1.75	6.00	8.00	8.00
水痘	報告数	10	4	2		1	1					
	定点あたり	0.29	0.11	0.22	0.00	0.25	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	62	53	15	3	1	9	6	4	1	13	1
	定点あたり	1.77	1.51	1.67	0.50	0.25	3.00	2.00	1.00	1.00	3.25	1.00
伝染性紅斑	報告数	2	1							1		
	定点あたり	0.06	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	25	34	16	6	3	3		3		2	1
	定点あたり	0.71	0.97	1.78	1.00	0.75	1.00	0.00	0.75	0.00	0.50	1.00
ヘルパンギーナ	報告数	47	65	17	7	19	11	4			7	
	定点あたり	1.34	1.86	1.89	1.17	4.75	3.67	1.33	0.00	0.00	1.75	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	28	44			4	39		1			
	定点あたり	0.80	1.26	0.00	0.00	1.00	13.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	39	14	11	1	2						
	定点あたり	6.50	2.33	3.67	0.50	2.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:58、小児科定点:35(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点あたり報告数

全数把握対象疾患累積報告数(2018年第1週～34週)

2類感染症	結核	117例(4)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	30例(5)				
4類感染症	E型肝炎	3例	A型肝炎	22例	重症熱性血小板減少症候群	9例(1)
	つつが虫病	1例	デング熱	1例	日本紅斑熱	12例(2)
	レジオネラ症	5例				
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	4例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	8例
	急性脳炎	6例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例
	後天性免疫不全症候群	4例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3例	侵襲性肺炎球菌感染症	20例
	水痘(入院例)	1例	梅毒	2例	播種性クリプトコックス症	4例
	破傷風	4例	百日咳	223例(9)	風しん	2例

()内は今週届出分、再掲